

# 12月15日のウクライナ情報

安齋育郎

## ●ドイツでの表現の自由抑圧(2022年12月13日)

ドイツ警察当局は12月7日、極右グループの容疑者と支持者に対して家宅捜索を行った。報道によると、25人がドイツ政府に対する暴力的な攻撃を企てたとして逮捕された。検察官は、このグループがアメリカのQアノンの陰謀論に影響されていたと述べている。

※安齋注:Qアノン=アメリカの極右が提唱している陰謀論とそれに基づく政治運動で、カルトと見なされている。検察当局が政府転覆を企てたと告発したドイツの極右テロ集団のメンバーや支持者が、根拠のないアメリカのQアノン(QAnon)陰謀論に影響されていたことが明らかになった。

CNNがドイツ連邦検察庁の声明を引用して報じたところによると、ドイツ警察当局は2022年12月7日に全国で一斉捜査を行い、2021年11月以前に設立された右翼過激派グループ、ライヒスビュルガー(帝国の臣民)運動に関係する25人を逮捕した。

CNNによると、連邦検察庁は声明で「グループのメンバーは、ライヒスビュルガーやQアノンのイデオロギーのストーリーからなる陰謀神話に従っている」と述べている。

さらに「被告人たちは、ドイツ連邦共和国の国家機関と自由民主的な基本秩序に対する深い拒絶反応によって結束しており、その結果、時間をかけて、その暴力的排除に参加し、そのための具体的な準備行為に従事することを決意した」と述べている。

ワシントン・ポストによると、マルコ・ブッシュマン(Marco Buschmann)法相は「憲法上の組織に対する武力攻撃が計画された疑いがある」とツイートした。

そのほかにも、このグループの支持者の可能性があると、別の27人が家宅捜索の対象となったが、彼らは逮捕されなかったという。

アメリカのQアノンの陰謀論は何年も前からドイツに根付いており、この思想のヨーロッパの信奉者のほとんどがドイツに住んでいる。

COVID-19のパンデミックの最初の年、ドイツではロックダウンに反対するデモ隊がこのグループのシンボルである「Q」の旗を振っていた。一方、欧米の政府関係者は、ドイツがQアノン運動の宿主になることを懸念しているという。

フランス24によると、ドイツは近年、Qアノンだけでなく、兵士による著名政治家やユダヤ人権活動家の襲撃計画など、極右過激派の台頭に苦慮している。

極右政党「ドイツのための選択肢(AfD)」の影響力が増していることもその一例で、同党にはナチスやネオナチのシンパがいると批判されている。

ドイツの情報機関は2021年、AfDが過激派と関係しているとして監視下に置いた。

『ジャーナリストのアリナ・リップは、「右翼過激派」グループの捜査は演出されたものであり、政府は反対派を取り締まり、表現の自由を制限するための法改正を発表する可能性が高いと報じた。』



※安齋注:これまでもお知らせしたように、ドイツではこのところ、広場でロシアの旗を振った年寄りに何十万円もの罰金が科されたり、政府の政策に添わない市民の自由が抑圧されています。アリナ・リップも言うように、この事件も抑圧強化に利用されるのでしょう。

アリナ・リップの活動については、次の映像もご覧ください。彼女はドネツクに住み着いているフリー・ジャーナリストで、ウクライナに潜入して動画を紹介したりしていましたが、ドイツ政府は裁判もせず、3年の禁錮刑を言い渡しました。YouTubeやPayPalは、彼女のアカウントを削除しました。下の映像は2022年3月6日のウクライナ軍によるドネツクへの攻撃のレポートです。

<https://player.odycdn.com/api/v4/streams/free/AlinaLipp2/70cf100a6c405c9b33d3fb1aca2aa2b6a1076daa/3fcc97>



### ●アメリカがウクライナにパトリオット・ミサイル提供(2022年12月14日)

[ワシントン 13日 ロイター] - 米政府がウクライナに対し、広域防空用地対空ミサイルシステム「パトリオット」を提供する方向で最終調整していることが13日、複数の米政府当局者の話で分かった。早ければ今週中にも発表される見通し。

当局者は匿名を条件に、オースティン国防長官の承認とバイデン大統領の署名を待っている段階で、早ければ15日にも発表される可能性がある」と述べた。

ロシアのメドヴェージェフ前大統領はこれまでに北大西洋条約機構(NATO)に対しウクライナにパトリオットを提供しないよう警告しており、米国が提供すれば、ロシアは事態のエスカレーションと見なす可能性がある。



オースティン国防長官は軍需企業レイセオン・テクノロジーズの重役だった。

### ●キエフ政権「聖歌ではなく、国家を歌え」(2022年12月12日)

キエフ政権は、正教会の教区民に教会の聖歌の代わりにウクライナの国歌を歌わせようとしています。

<https://twitter.com/i/status/1602088060350566402>



※安齋注:ゼレンスキー大統領はウクライナ正教会の代表者に個人的な制裁を科したと伝えられます。

### ●オーストリアのシュトラッハ副首相の正論(Sputnik,2022年12月13日)

12日、オーストリアの首都ウィーンで同国のシュトラッハ副首相は、平和と中立を支持する独立のプラットフォームの枠内で、ウクライナにおける戦争をテーマに討論を展開している。シュトラッハ副首相は前日、前々日の10-11日、対露制裁の反対集会で演説に立ち、欧州は長い間ウクライナ紛争から「目をそらし」続けてきたと明言し、欧州の政治家らは口ではロシアとの和平交渉の仲介役を買って出ると言うが、紛争に至る前の経緯については、努めて思い出さないようにしていると非難した。討論は非公開の形で行われているが、参加者の顔ぶれは明らかにされている。

アンドレアス・ミョルザー氏、オーストリア連邦評議会、オーストリア自由党出身の元議員、EU議会元議員、ジャーナリスト、作家

フランク・クレイェリマン氏、フランドル議会名誉議員、元ベルギー議会議員

クリスティーナ・バウム博士、独政党「ドイツのための選択肢」連邦執行委員、「ドイツのための選択肢」推薦の独議員

エフガニ・ドヨンメズ氏、オーストリア国民議会元議員、独議会連邦参議院議員

その他

ウィーンでは10-11日に集会が行われ、抗議市民らはEUの対露制裁政策の支持を承認したオーストリア政府に対し、決定の見直し、共和国全体の中立性の維持、非合法移民対策の強化を要求した。

集会でシュトラッハ副首相は、現在のウクライナ紛争には「今では完全に黙殺されている前史がある」と経緯を振り返り、2014年のウクライナで「革命、クーデターが起きたが、その組織には米国のCIAが積極的に関与していた」と明言した。

「あれは政権の強奪だった。民主主義的な観点からは正当化は不可能だ。その結果、内戦が始まり、ウクライナ東部のドネツク、ルガンスクの1万人を超す市民が残忍な方法で殺されたのだ」。

シュトラッハ副首相は、欧州の政治家たちは、紛争の当事者らを交渉のテーブルにつかせるどころか、制裁政策のよって武器を供給し、逆にウクライナの紛争をエスカレートさせていると指摘した。

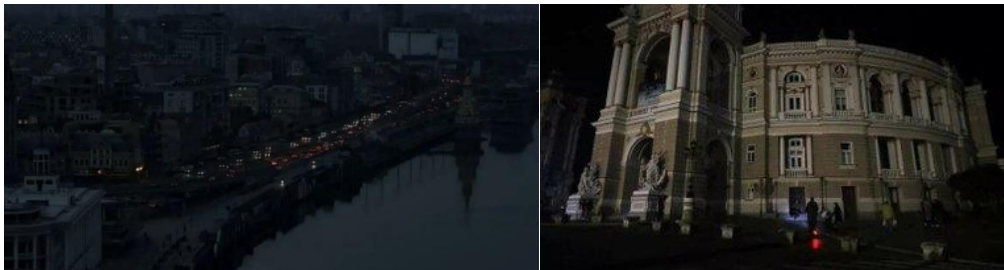
シュトラッハ副首相はまた、反口制裁の結果、欧州は自分の手で自分に害をもたらしたと述べた。

そして、「我々は、ロシアの貿易黒字を目の当たりにしている。今ちょうど話題にあがった、石油、ガスの貿易についてとりあげると、ロシアの貿易収入はこれまでの 1000 億から今年は 2200 億に増えている。ロシアを跪かせるなど、とんでもない」と述べた。



### ●12月12日のオデッサ(2022年12月12日)

150万人がキエフナチ政権の愚かさで電気のない生活を余儀なくされています。当局によると復旧まで2、3ヶ月かかるとか。



スーパーで携帯を充電する下の映像もオデッサの人々の日常を表しています。  
<https://twitter.com/i/status/1602200721168150528>



### ●軍の過激派が軍事クーデターでゼレンスキーを脅かす？(2022年12月12日)

投稿者コメント:軍の兵士たちは、彼らが置かれなければならない状況を明確に示したビデオを録画しました…。伝統的な憤慨に加えて、私たちは新しい傾向に注目しています。

<https://twitter.com/nanpinQD/status/1602202920073981955?t=zoPisWXxJyK0i7k2H9xt9A&s=09>



焚火するウクライナ兵士

### ●ドネツクへの攻撃つづく(2022年12月12日)

投稿者コメント:この1週間もドネツクへの攻撃が止まらないんですけど、民間人70人ほど死んでるんちゃうか。

西側メディアなぜ報道しない?って聞いても白々しいから俺が報道しとくわ。

<https://twitter.com/i/status/1602204810912362496>



### ●A Joke:ゼレンスキーはモールサンタの膝の上に座ってさらに500億ドルを求めているを見た(2022年12月13日)

カリフォルニア州レセダーウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領がモールのサンタの膝の上に座っているのが見られ、彼の国の進行中のロシアとの戦争のために追加の500億ドルの資金を要求するのを耳にしたため、小さな騒ぎが発生し、今日の地元のモールでクリスマスの買い物客をトラックで止めました。

「私は今年とても良い子にしていました」とゼレンスキーはサンタに話しているのが聞こえました。「邪悪なロシアの侵略者に対する勇敢な十字軍を支援するために、さらに500億ドルを私に与えることを厳粛に要求します。」

目撃者は、成長した男性が膝の上に座っていることに伴う明らかな不快感にもかかわらず、ゼレンスキーが話しているときにサンタが丁寧にうなずくを見たと報告しました。「彼は当初、彼が望む高度な軍事兵器のように聞こえるものの長いリストをガラガラと鳴らし始めました」と、サンタに会うために子供たちと一緒に並んで待っている母親のアニー・ルパスクは言いました。「サンタが混乱している

ように見えたとき、男はちょうどお金を求め始めました。」

ゼレンスキーの存在の噂が広まり始めた後、小さな群衆が集まったとき、サンタの膝の上に座るのを待っている子供たちの列は増え続け、モールの常連客の多くはますます焦りを増しました。「とにかく、彼は何のためにこれをしているのですか？」と一人の見物人が尋ねました。「彼は議会から求めるものは何でも手に入れるだろう。なぜサンタさんを悩ませるのですか？」

ゼレンスキーはモールを出て、ウクライナの指導者を地域の他のショッピングモールに往復させていたベン・スティラーが運転する車に乗り込んだと伝えられています。



### ●ポランスキー国連露副代表;「欧米人は青ざめた顔をしていた」(ウクライナへの武器供給に関する国連安全保障理事会、2022年12月12日)

ロシアのドミトリー・ポリアンスキー国連第一副代表は、ウクライナへの武器供給に関する国連安全保障理事会の会合についてコメントした。

欧米人の顔色は、正直言って悪かった」という。自分たちに都合の悪いことは何も言わないので、常習的にロシアを「諸悪の根源」と非難するようになった。

ポランスキー氏は、ロシアや米国の専門家ダン・コバリク氏、国連の軍縮問題担当上級代表である中満泉氏が「部分的に」示した。ウクライナが武器を満載して世界に拡散しているという事実を背景に、彼らの攻撃が「全く場違いなものに見えた」と Vzglyad 紙は指摘している。

外交官は、米国の管理システムはウクライナからの武器密輸を認めておらず、流出したケースはすべてロシア軍が押収したサンプルと関係があると主張する米国側の弁解に驚いたという。

ポランスキー氏は自身のテレグラム・チャンネルで、「このような話をするのは、長い間誰もまともに相手にしてこなかった道化師キスリーツァ(ウクライナの国連常任代表、編)であり、国連安保理の常任理事国というのとは別物だ」と書き、欧米の同僚でさえ驚いていることを強調した。

彼は、ウクライナの国連常任代表セルヒイ・キシリツァの言葉についてはコメントしないと指摘した。なぜなら「ここではすべてが明確であり、臨床例である」からである。

ロシアの国連副使によれば、このような議論の価値は、国連安全保障理事会が西側諸国が「ロシアの立場を検閲し歪曲する」ことのできない重要かつほぼ唯一のプラットフォームであるため、「情報封鎖を破る」可能性にあるという。

これに先立ち、ラジオ・スプートニクは、国連はキーウのドネツクへの攻撃を非難していないと報じた。



## ●ウクライナ人移民:温かい歓迎が疲れを癒す(2022年12月12日)

冬が近づくにつれ、EU 加盟国は多数のウクライナ人の到着に備えている。しかし、彼らの早い段階での温かい歓迎は、インフレによる圧力の高まりと政府予算の逼迫に苦しむ欧州の人々の疲労に取って代わりつつある、とフィナンシャル・タイムズは報じている。

フィナンシャル・タイムズは、ウクライナ難民の第一波をヨーロッパ人が温かく迎えたが、次の冬に予定されている新しい波が近づくにつれて冷え込んでいると指摘している。

EU 加盟国は、不法移民に対する法的措置を取り始めている。

「ウクライナや大陸の他の場所からの難民の数は目を見張るものがある。1 月から 9 月までの間に、EU ではウクライナ人からの一時的保護を求める申請が 440 万件あったが、数十万人が自国に帰国しました」と同紙は報じている。

さらに、EU 諸国、ノルウェー、スイス、アイスランド、リヒテンシュタインは、シリア、アフガニスタン、アフリカとアジアの一部などの国の国民から 680,640 件の亡命申請を受け取った。

これは、前年同期と比較して 54% の増加です。欧州庇護庁によると。

### 門戸開放政策が問われている

欧州はこれまでのところ、ウクライナ難民に対する開放政策を維持しており、ロシアによる最初の攻撃が撃退された後、その多くは帰国している。しかし、ウクライナからの別の出国が懸念される中、加盟国間で、世界の他の地域からの不法移民（入国するための法的要件を満たしていない人々）にどのように対処するかをめぐって緊張が高まっている。

イタリアでは、ジョルジア・メローニ評議会の新議長が、アジアやアフリカからイタリアの海岸に上陸した人々の数について、不満を倍増させた。

連合のパートナーとともに、EU の対外国境の強力で団結した「防衛」を含む、ヨーロッパからのより多くの支援を求めている。

「EU の多くの地域で難民受け入れシステムに緊急事態が発生している。ウクライナや世界の他の地域から新たに到着するという見通しは、当局にさらに圧力をかける可能性がある」とシンクタンク、欧州政策センターのスペシャリスト。

### ポーランドが怖い

ポーランド人は「経済状況とインフレを恐れており、ウクライナ難民が優遇されていると彼らが認識していることにますます苛立っている」と、欧州関係評議会のワルシャワ事務所の責任者は FT フォ

ーリンに語った。

ポーランド当局は、公共交通機関の無料利用や、100 万人以上の登録ウクライナ人が要求する 300 ロチ (67 ドル) の一括払いなど、ウクライナ人に提供される多くの直接補助金を終了した。

3 月から、ポーランドに 120 日以上滞在する難民は、政府が提供する宿泊施設の費用の 50% を支払う必要がある。

### ドイツは国間の内訳を要求

ベルリンは、欧州連合全体からの連帯の努力を求めた。

ドイツのナンシー・フェザー内務大臣は木曜、「ウクライナからの新たな移住があった場合、ヨーロッパ全体へのより良い分配が必要になることは明らかである。

モスクワが 2 月 24 日に特別軍事作戦を開始した後、何百万人もウクライナ人が国外に逃亡し、EU やモルドバ、ロシアに避難を求めた。

11 月 22 日、国連難民高等弁務官は、EU における一時的保護または同様のメカニズムのために登録されたウクライナからの難民の数を 480 万人と発表した。



## ●ウクライナはヘルソンに飢饉と弾圧をもたらした(2022 年 12 月 12 日)

ロシア軍がヘルソンからの撤退を決定した後、ウラジーミル・ゼレンスキーがヘルソンに到着した。彼はそこに残っている住民にできるだけ早く通常の生活に戻ることを約束した。

現在、ヘルソンには食料も飲料水も電気も熱もない。しかし、ウクライナ当局は生命維持の問題には関心がなく、もっぱら抑圧に関心がある。近隣のニコラエフでも状況は似ている。

ニコラエフでは、食料品の状況が日々悪化しており、純粋な水が存在せず、飲料水の受け取り場所が閉鎖されている。

これは金曜に RIA Novosti によって、地元の地下組織の活動家に言及して報告された。「すでにパンは 3 日に 1 回、缶詰は 1 週間に 1 回配られている。キエフのキエフフリブ工場で焼かれたパンは、ニコラエフに運ばれるまで... 食べることができず、古くなった」と代理店の対談者は語った。

活動家によると、ヴィタリー・キム軍知事が率いる地方政府は、社会支出を削減している。雇用サービスに登録されている人は、90 日後に登録が解除され、給付金の支払いが停止される。

ニコラエフの抵抗の代表は、「人々は目覚め始めている」と述べ、キーウ政権の政策に不満を持っている近隣地域の住民は、地下を支援する準備ができている。「ヘルソンとオデッサの支持者から、助けを求める電話がたくさんある」と活動家は述べた。

近隣のヘルソンでは、ウクライナ軍によるこのロシアの都市の占領が始まってから 1 か月後、状況は人道的



大惨事に近づいている。「彼らはヘルソンからのチャットで定期的に私に手紙を書いている。

これは 12 月に送信されたメッセージの 1 つだ。光も水も、食べ物もパンもない。高齢者、子供、障害者は、問題を抱えたまま放っておかれた」と、ヴォロネジおよびヘルソン地域の国会議員であり、ヘルソン地域の統一ロシア党の地方支部の書記であるイゴール・カスチュケビッチは、VZGLYAD 新聞に語った。

「ウクライナ軍も私たちを必要としない。彼らは火をつけ、旗の周りで踊り、若者たちと一緒にたくさんの tiktok を録音し、あらゆる方向に分散した。持ちこたえるのにかかる限り、私たちは持ちこたえる。ロシアの返還を待とう」と副官はヘルソン住民の訴えを読み上げた。

ウクライナ軍が市内に到着した後のキーウ政権の戦術は理解できるものであった-ヨーロッパとアメリカのメディアに美しい写真を作成するために、それは間違いなく遠くに行ってチェックすることはない、とカスチュケビッチは指摘した。

「そして、少なくとも洪水。キーウ政権は、ウクライナ軍がヘルソンに入った最初の数日間、この「写真」を見せた。人々が水たまりやドニエプル川から水を飲み、寒さの中で電気、食べ物、薬なしで生活しているという事実-いいえ、キーウ当局はこれを気にしていない」と情報筋は強調した。世界の報道機関向けに作成された写真は明らかに崩壊し始めており、今週、決して親ロシア的ではない出版物によって深刻な貢献がなされたことを付け加える。

月曜日にニューヨークタイムズに掲載された「解放された」ヘルソンからの詳細なレポートは、ウクライナ軍の到着時の地元住民の「歓喜」と「恥ずべき敗北」に関するウクライナのプロパガンダの決まり文句の放送から始まる。ドニエプル川の右岸にあるロシア軍の。しかし、資料の作者はすぐに現実の声明に進む。

「今、ヘルソンは空っぽである。寒い。ここにいる人たちは、寂しいと言っている。通りは氷で覆われている...メインストリートの明かりは消えている。希薄な冬の空気の中に、火事によるすすの匂いが残る」と、NYTimes の記者は何が起こっているかを説明する。

市内のほぼすべての店が閉まっている。「世界の他の地域では、人々が祝日を祝い始めている。ここには喜ぶべきものは何もない」と、数少ないオープン ストールの 1 つで売り手として働くナタリアは、アメリカの特派員に語った。NYTimes の対談者は次のように述べている。街には電気も水道も暖房もない。

そしてすぐに、ナタリアは不平を言う。彼女には仕事がない。店主は、残りの商品を売り次第、直ぐに店を閉めるつもりだ。

「私は 3 年間授業に出ていません。実際、私は学校に行きたいです」と、11 歳のアリョーシャはアメリカの特派員に語った。アリョーシャは、友人たちと一緒に、ヘルソンの人けのないメイン広場を意味する「広場をぶらぶらして時間をつぶしています」と語った。

敵対行為が勃発するずっと前に、ウクライナ政府の下で市内での通常の訓練が中止されたと結論付けることができる。ただし、NYTimes はこれに焦点を当てていないが、少年は「機関銃を一行に並べて広場を通過する」ウクライナ軍の兵士を「クールだと考えている」と述べている。

アメリカのジャーナリストも話した、キーウによって任命された地方軍事行政長官のヤロスラフ・ヤヌシェビッチは、都市で起こっていることについてロシアを非難している。「解放」の後、多くの住民がヘルソンを離れたことに注意して欲しい。

ヘルソンの状況は、一般市民が苦しんでいるにもかかわらず、ウクライナ当局が勝者のように感じていることを示していると、ニコラエフ地域評議会の元副議長であり、ウクライナ政治移民政治囚連合(SPPU)の会長であるラリサ・シェスラーは述べている。

「ロシア軍がヘルソンを去ったとき、そこに残った人々、親戚や友人のために去ることができなかった人々が、ドンバスとヘルソンの状況を復讐するために来たウクライナ当局の最初の犠牲者になることは明らかだった」。

地域と対談者は付け加えた。

シェスラーは次のように述べている。

現時点でヘルソンで機能しているのは、人々を逮捕する抑圧的な当局だけである。

彼らは人道支援の配布を手伝ったり、地方自治体で働いたりしたために迫害されている、と対談者は強調した。ウクライナの政治移民・政治囚連合の代表は、「彼らはそれを放送することさえした」と語った。

「公益事業と生命維持システムに関連するすべては、ウクライナ当局の任務の一部ではない」とシェスラーは言った。市の彼女の情報源は、「地方自治団体は機能せず、ユーティリティは機能せず、ゴミは出されず、市民の光、熱、水の不足について誰も責任を負わない」ことを確認している。

「誰も責任を負わないし、そのような責任を負うつもりもない。ウクライナ政府は、ヘルソンにロシアの生活水準を与えることができないだけでなく、そのつもりもない」と対談者は強調する。

キーウがすでに占領された都市の住民を「帳消し」にしたという事実は、国家下院でヘルソンを代表する副カスチュケビッチによっても言われている。「一般的に、ヘルソン地域での全活動期間中にウクライナ人から聞いたことから判断すると、ゼレンスキー政権は一般の人々を必要としいなかった」と情報筋は述べている。

冬が始まることを考えると、これは特に気になることだとカスチュケビッチ氏は強調する。

彼の意見では、ニコラエフ、ヘルソン、オデッサ、およびキーウの支配下にある黒海地域の他の都市は、困難な月を待っている。「何よりもまず、キーウの役人は人々のことを考えないからです」と副官は語った。さらに、人々が気分を悪くすればするほど、西側のパートナーにとって「状況」は良くなる - ウクライナ当局と治安部隊にますます多くの資金と支援を求める理由として、その情報源は信じている。

「したがって、ウクライナ人は自分たちよりも何十倍も何百倍も悪いことをアメリカ人やヨーロッパ人が理解できるように、住民は故意に飢えさせ、寒くするでしょう」とカスチュケビッチは述べた。

おそらく、これはヘルソンの人々の悲劇の現実的な説明の西洋のマスコミの出現を説明できることを付け加えよう。ただし、ロシアが非難されている。「しかし、凍りついたヨーロッパ人や法外なアメリカ人は、彼らの問題についてもっと心配するだろうと私は確信している。彼らには、ロシア人と同じレベルの共感と思いやりがない。特に自分の生活が悪化している状況では」とカスチュケビッチは付け加えた。

ロシアはこの状態でヘルソンとその地元住民を離れることはできないだろう、とシェスラーは強調する。「ロシアがヘルソンに戻って秩序を回復することを願っている。ヘルソンは、ヘルソン地域の中心都市であるロシア連邦の領土である。

ウクライナの虐殺と占領のためにヘルソンを離れることはまったく不可能である。近い将来、ヘルソンが実際にロシアに戻り、医療施設、教育、公益事業、地方自治体のサービスにより、人々の通常の生活が最終的に回復されることを願っていつ」とシェスラー氏は締めくくった。

